

岩手県の農林水産業の概要

特徴・取組

岩手県は本州の北東部に位置し、東西約122km、南北約189kmと南北に長い楕円の形をしており、その面積は、約1.5万km²と国土面積の4%を占め、北海道に次ぐ広さとなっている。

奥羽山脈の山沿い地方は冬に雪の多い日本海側の気候、北上高地は高原性・盆地性の気候、北上川沿いの平野部は全般的に冬は寒さが厳しく夏は暑い内陸性の気候、沿岸部は海洋性の気候となっており、地域の気象条件や特性を生かした多彩な農林水産物の生産が行われている。

岩手県の産業別総生産（平成30年度）は、第1次産業が1,663億円（3.5%）、第2次産業が14,167億円（29.9%）、第3次産業が31,265億円（66.0%）となっている。

また、農業産出額（令和元年）は総額2,676億円で、東北2位、全国10位となっており、うち畜産が1,569億円と59%を占めている。

岩手県の農業は、米、園芸、畜産が盛んであり、りんどう、りんご、ブロイラー、ホップ、雑穀などで全国有数の産地となっている。

林業は、豊富な針葉樹・広葉樹資源を活かした木材生産が盛んであり、全国有数の素材生産量を有するほか、木炭や生うるしが全国一の産地である。

水産業は、さけ、あわび、うに等の栽培漁業やわかめ、こんぶ、かき、ほたてがい等の養殖など、「つくり育てる漁業」が盛んである。

岩手県では、生産者や消費者がその豊かさと恵みを実感できる「食と緑の創造県いわて」の実現を目指して、県産農林水産物の放射性物質濃度の測定と結果の公表、東北初の県版GAP（県産農業生産工程管理）の普及・定着等を進めることにより、全国最高水準の安全・安心な産地づくりに向けた取組の一層の強化を図っている。

主な農林水産物

りんどう(切り花類)

昭和33年に野生株を収集して水田で栽培したのが始まり。昭和42年からオリジナル品種の開発を開始。
(出荷量全国1位)



ホップ

栽培面積は全国の約5割を占める。契約栽培による安定した収益が確保されている。
(生産量全国1位)



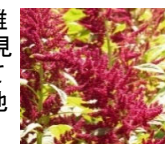
りんご

冷涼で気温の日較差が大きい恵まれた気象条件と、わい化栽培により早期多収で高品質。ふじ、ジョナゴールド、はるかなど品種も多彩。
(収穫量全国3位)



雑穀

近年、健康食ブームにより雑穀の様々な成分や機能性が見直され多様な活用が行われているほか、郷土食として今も地元で根付いている。花巻市や県北地方を中心に栽培。



ブロイラー

国内を代表する産地で、県内10以上の銘柄鶏では、こだわりの餌等により肉質等にこだわりの持った生産が行われている。
(出荷羽数全国3位)



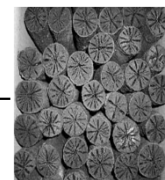
肉用牛

県下に多数の銘柄牛を飼養。頭数が希少な日本短角種の生産が日本一。
(飼養頭数全国5位)



木炭

原木となるナラが豊富にあり、県北地域を中心に生産され、全国の3割を占める日本の産地。
(生産量全国1位)



生うるし

国内生産量の約7割を生産。「浄法寺漆」は、中尊寺金色堂、日光東照宮など世界遺産の保存修理にも用いられている。
(生産量全国1位)



わかめ類

肉厚で歯ごたえがあり、色が濃く熱に強いことが特徴で、全国でも有数の品質。
(収穫量全国2位)



さけ類

「南部鼻曲り鮭」とも呼ばれる秋さけは岩手を代表する魚。
(内水面漁獲量全国2位)



岩手県内の各地域における農林水産物

盛岡地域

【農畜産物】水稲、小麦、そば、ピーマン、やまのいも、きゅうり、キャベツ、レタス、だいこん、はくさい、ほうれんそう、ブロッコリー、トマト、ズッキーニ、すいか、りんご、なし、ぶどう、やまぶどう、りんどう（切り花類）、アルストロメリア（切り花類）、スターチス（切り花類）、乳用牛、豚、生乳

【林産物】からまつ、広葉樹、生しいたけ、なめこ

【水産物】ます類（内水面）

県北地域

【農畜産物】雑穀、きゅうり、キャベツ、レタス、ほうれんそう、にんにく、りんご、おうとう、ホップ、ヤマブドウ、葉たばこ、肉用牛、豚、ブロイラー、生乳

【林産物】あかまつ、広葉樹、木炭、生しいたけ、乾しいたけ、生うるし

【水産物】するめいか、あわび類、うに類、こんぶ類（養殖）、ほたてがい（養殖）

県南地域

【農畜産物】水稲、そば、大豆、小麦、ピーマン、アスパラガス、えだまめ、トマト、さといも、りんご、ぶどう、なし、ホップ、小ぎく、りんどう（切り花類）、肉用牛、豚、生乳、ブロイラー

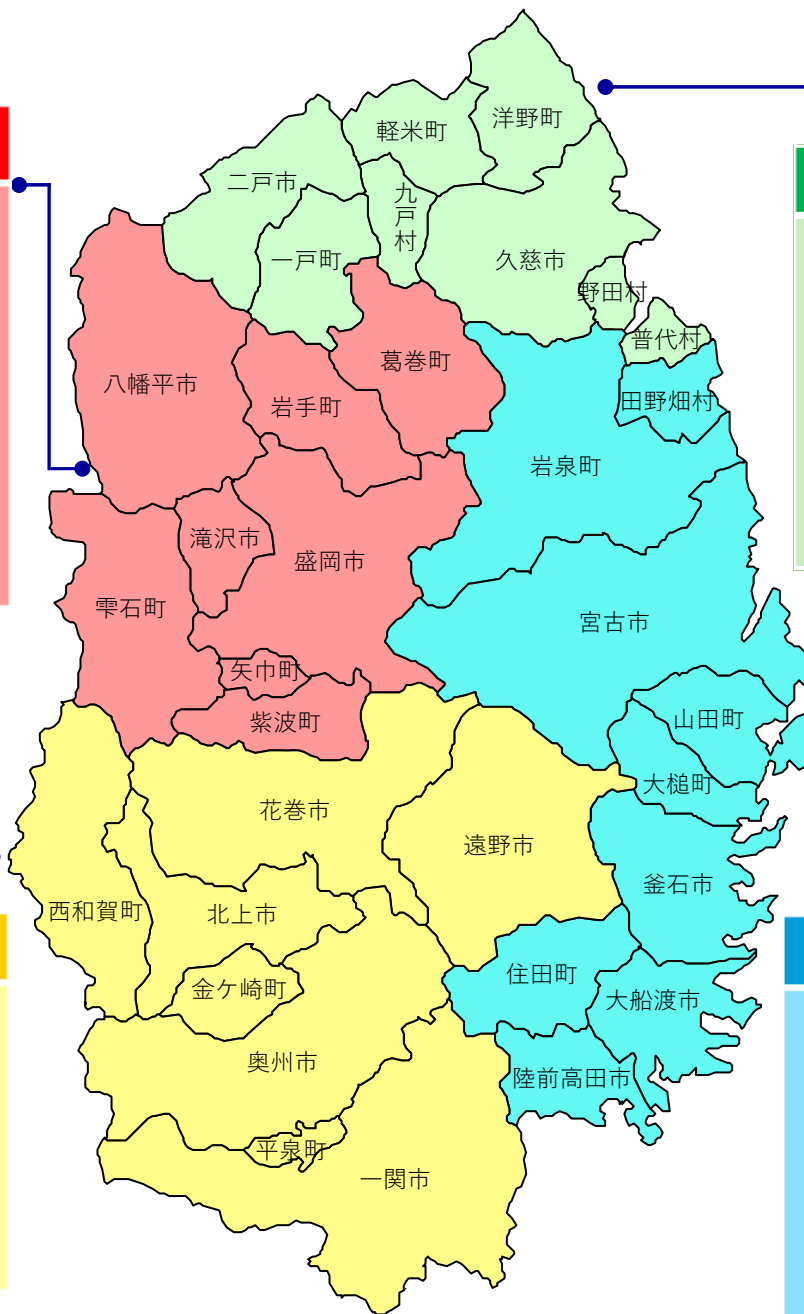
【林産物】すぎ、広葉樹、生しいたけ、水わさび

沿岸地域

【農畜産物】いちご、しそ、肉用牛、豚、ブロイラー、生乳

【林産物】広葉樹、生しいたけ、乾しいたけ、畑わさび、まつたけ

【水産物】かつお、さけ・ます類、さば類、さんま、たら類、おきあみ類、するめいか、あわび類、うに類、ほたてがい（養殖）、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、こんぶ類（養殖）



岩手県の農業（1）

- ・耕地面積は14万9,500haで、全国第5位、うち牧草地在2万7,200haで2位。
- ・担い手への農地の集積面積は7万9,969haで、全国第5位。
- ・農業経営体数は3万5,380経営体で、全国第7位。総農家数は5万2,688戸で同じく全国第7位、うち販売農家は3万3,861戸で7位。
- ・基幹的農業従事者数は4万4,458人で全国第9位、うち65歳以上は3万2,784人で6位。認定農業者数は6,581経営体で全国第13位。

耕地面積

区分	岩手県	全国	全国順位
耕地面積	149,500 ha	4,372,000 ha	5
田	94,000 ha	2,379,000 ha	8
畑	55,500 ha	1,993,000 ha	5
普通畑	24,800 ha	1,130,000 ha	13
樹園地	3,530 ha	268,100 ha	22
牧草地	27,200 ha	595,100 ha	2
参考) 総土地面積	1,527,501 ha	37,797,561 ha	2

出典：「令和2年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	岩手県	全国	全国順位
荒廃農地面積	4,500 ha	283,536 ha	25

出典：「令和元年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区分	岩手県	全国	全国順位
担い手への集積面積	79,969 ha	2,508,560 ha	5
集積率	53.4 %	57.1 %	13

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和元年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和元年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	岩手県	全国	全国順位
農業経営体数	35,380 経営体	1,075,705 経営体	7
法人経営体	840 経営体	30,707 経営体	8
総農家数	52,688 戸	1,747,079 戸	7
販売農家	33,861 戸	1,027,892 戸	7
参考) 世帯総数	493,049 世帯	53,448,685 世帯	32
集落営農数	628 集落営農	14,832 集落営農	8

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和2年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	岩手県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	44,458 人	1,363,038 人	9
男	25,255 人	822,144 人	10
女	19,203 人	540,894 人	8
65歳以上	32,784 人	948,621 人	6
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	73.7 %	69.6 %	-
認定農業者数	6,581 経営体	233,806 経営体	13
法人数	700 法人	26,080 法人	11
参考) 総人口数	1,279,594 人	127,094,745 人	32

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
(但し「2020年農林業センサス」は令和3年4月27日公表データを使用)

岩手県の農業（2）

- ・農業産出額は2,676億円で全国第10位、うちブロイラーが549億円で3位、生乳が234億円で4位、肉用牛が292億円で5位、豚が276億円及び雑穀が5億円で7位。
- ・農畜産物の生産状況は、りんどう（切り花類）、ヤマブドウ及びホップが全国第1位、葉たばこが2位、ブロイラー、りんごが3位。

農業産出額

区分	岩手県	全国	全国順位
農業産出額	2,676億円	89,387億円	10
米	603億円	17,484億円	10
麦類	2億円	543億円	22*
雑穀	5億円	110億円	7
豆類	10億円	773億円	13
いも類	4億円	2,007億円	36
野菜	259億円	21,515億円	28
果実	130億円	8,399億円	16
花き	41億円	3,264億円	25
工芸農作物	44億円	1,699億円	8
その他作物	8億円	718億円	22*
畜産	1,569億円	32,344億円	4
肉用牛	292億円	7,482億円	5
乳用牛	268億円	9,353億円	5
生乳	234億円	7,629億円	4
豚	276億円	6,122億円	7
鶏	722億円	8,647億円	3
鶏卵	135億円	4,595億円	13
ブロイラー	549億円	3,510億円	3*
その他畜産物	9億円	740億円	8
加工農産物	0億円	530億円	40

出典：「令和元年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区分	年次	岩手県	全国	全国順位	
りんどう（切り花類）	出荷量	元	48,400千本	85,200千本	1*
ヤマブドウ	収穫量	H30	235 t	365 t	1
ホップ	生産量	元	102 t	203 t	1
葉たばこ	販売重量	H31	2,001 t	16,798 t	2*
ブロイラー	出荷羽数	H31	110,797千羽	695,335千羽	3*
りんご	収穫量	元	45,900 t	701,600 t	3
乳用牛	飼養頭数	R2	41,600頭	1,352,000頭	4
肉用牛	飼養頭数	R2	91,100頭	2,555,000頭	5
生乳	生産量	元	211,951 t	7,313,530 t	4
ピーマン	収穫量	元	7,910 t	145,700 t	5

出典：「花き生産出荷統計」、「ホップに関する資料」（全国ホップ連合会）、「特産果樹生産動態等調査」、「畜産統計」、「果樹生産出荷統計」、「葉たばこ販売実績（府県別）」（全国たばこ耕作組合中央会）、「牛乳乳製品統計」、「野菜生産出荷統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	岩手県	全国	全国順位	
農産加工	総額	8,494百万円	946,841百万円	35
	事業体数	920事業体	32,400事業体	9
農産物直売所	総額	18,704百万円	1,053,366百万円	24
	事業体数	470事業体	23,650事業体	23
観光農園	総額	447百万円	35,943百万円	24
	経営体数	40経営体	5,290経営体	35

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

岩 手 県 の 林 業

- ・ 林野面積は115万2,364haで、全国第2位。林業経営体数は1,728経営体で、全国第3位。
- ・ 林業産出額は192億5,000万円で、全国第6位、うち木材生産が3位。
- ・ 林産物の生産状況は、あかまつ・くろまつ、木炭及び生うるしが全国第1位。
- ・ 製材工場数は121工場で、全国第12位。

林野面積

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林野面積	1,152,364 ha	24,770,166 ha	2
国有林	364,916 ha	7,153,338 ha	5
民有林	787,448 ha	17,616,828 ha	2
人工林面積	488,680 ha	10,203,842 ha	2

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)

林業経営体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,728 経営体	34,001 経営体	3
法人経営体	193 経営体	4,093 経営体	3

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林業産出額	192.5 億円	4,549.2 億円	6
木材生産	149.3 億円	2,294.0 億円	3
栽培きのこ類生産	35.9 億円	2,170.2 億円	16

出典：「令和元年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,519 千m ³	21,883 千m ³	3
針葉樹	1,238 千m ³	19,876 千m ³	3
あかまつ・くろまつ	248 千m ³	601 千m ³	1
からまつ	269 千m ³	2,217 千m ³	2
すぎ	720 千m ³	12,736 千m ³	6
広葉樹	281 千m ³	2,007 千m ³	2
木炭	生産量 2,385 t	8,377 t	1 *
まつたけ	生産量 3 t	14 t	2 *
生うるし	生産量 1,488 kg	1,997 kg	1
わさび(葉柄)	生産量 386 t	1,422 t	2
生しいたけ	生産量 4,254 t	71,071 t	3

出典：「令和元年木材統計」、「令和元年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
工場数	121 工場	4,382 工場	12
製材用素材の入荷があった工場数	121 工場	4,340 工場	12
国産材のみ	79 工場	3,358 工場	19
国産材と輸入材	42 工場	771 工場	2

出典：「令和元年木材統計」

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
(但し「2020年農林業センサス」は令和3年4月27日公表データを使用)

岩 手 県 の 漁 業

- ・ 漁船隻数は5,791隻で、全国第5位。
- ・ 海面漁業・養殖業産出額は346億円で、全国第13位。
- ・ 水産物の生産状況は、あわび類（海面漁業）が全国第1位、わかめ類（海面養殖業）及びさけ類（内水面漁業）が2位。
- ・ 漁業者等による生産関連事業は、漁家民宿の年間販売金額が1億900万円で、全国第15位。

漁船隻数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
漁船隻数	5,791 隻	132,201 隻	5
動力漁船	1,146 隻	69,920 隻	26

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	3,406 経営体	79,067 経営体	5
内水面漁業経営体数	38 経営体	4,772 経営体	31

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	6,327 人	151,701 人	4
男	5,432 人	134,186 人	5
女	895 人	17,515 人	6

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	346 億円	13,484 億円	13

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	122,344 t	4,143,433 t	8 *
海面漁業漁獲量	92,774 t	3,228,206 t	9
あわび類	145 t	829 t	1 *
海面養殖業収穫量	29,570 t	915,228 t	11 *
わかめ類	12,647 t	45,099 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	558 t	52,875 t	13 *
内水面漁業漁獲量	324 t	21,767 t	7 *
さけ類	310 t	6,240 t	2 *
内水面養殖業収穫量	234 t	31,108 t	19 *
にじます	158 t	4,543 t	10 *

出典：「令和元年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	1,660 百万円	175,132 百万円	21
	事業体数	40 事業体	1,500 事業体	9
水産物直売所	総額	85 百万円	36,489 百万円	30 *
	事業体数	10 事業体	800 事業体	18 *
漁家民宿	総額	109 百万円	6,659 百万円	15 *
	経営体数	10 経営体	900 経営体	18 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

岩手県の農林水産業の話題等

岩手県産りんごを24年ぶりに米国へ輸出

J Aいわて中央は、2009年からタイを皮切りにベトナム、台湾、香港、カナダに展開して輸出を拡大しており、2021年2月から米国に向けて輸出を開始。

国産りんごが米国に輸出されるのは11年ぶり、岩手県産としては24年ぶりとなる。

米国のバイヤーとの商談成立を受け、検疫条件である40日間の低温隔離貯蔵や害虫を駆除するくん蒸処理を実施する等の体制整備を進め、米国農務省の検査官による検査を経て、今回の輸出が実現した。

J Aいわて中央では、「県産りんごの消費拡大と生産者の所得向上につなげたい」とし、2030年までに71トンの輸出目標を掲げている。



米国農務省の検査官(右)による検査の様子



トラックに積み込まれた岩手県産りんご

東日本大震災から10年～津波被災地域の復興を牽引する農業法人

岩手県大船渡市では、東日本大震災後、産業用地として整備された津波被災跡地において、新たに設立された農業法人が沿岸地域の気候を生かした施設園芸を開始。復興の牽引役として歩みを進めている。

(株)いわて銀河農園は、平成31年、同市末崎町小河原地区に1.5haのトマト栽培施設を整備し、養液栽培による通年生産を開始。短時間労働の勤務形態により約40人を雇用し、地域に新たな雇用の場を提供している。

(株)リアスターファームは、令和2年、同市三陸町越喜来地区に地元産の間伐材を骨組みにした木骨ハウスによる46aのイチゴ栽培施設を整備し、夏秋イチゴの周年栽培を開始。施設は研修機能を兼ね、国産夏イチゴの一大産地化に向け人材育成にも力を入れている。



(株)いわて銀河農園のトマト栽培施設



イチゴが実る(株)リアスターファームの栽培施設内

IoTと地域資源を有効活用した雇用創出・地域経済の振興

IoTと地熱を活用したバジルの生産販売に取り組む八幡平スマートファーム（岩手県八幡平市）は、高齢化等で使用しなくなったビニールハウスを再生し、IoT次世代型施設園芸への転換を進めている。

再生したハウスは、市内の地熱発電所から供給される熱水を暖房に利用し、温度管理や養液の供給量、日射量などをIoT制御システムを使って調整し、バジル栽培の省力化やコスト低減のほかに、冬場の気温がマイナス15度以下になる八幡平市でも通年出荷が可能となった。

八幡平スマートファームでは、12棟のハウスを50棟まで拡大し、地元の雇用創出につなげる計画を進めるとともに、バジルを使用した6次化商品を地元企業と共同開発するなど、地域特性を活かしたスマート農業のビジネスモデルを確立し、地域産業の活用による地域の活性化に取り組んでいる。



地熱発電所の熱水を利用しているハウス



縦型水耕栽培で生産されているバジル